



サベリス

testo Saveris 2

testo 160

# 初期設定手順

|                          |         |
|--------------------------|---------|
| ユーザー登録                   | p2      |
| ロガーの接続方法①～ウェブから設定～       | p3～p5   |
| ロガーの接続方法②～PDFで設定～        | p6～p7   |
| ロガーの接続方法③～ホットスポットモードで設定～ | p8～p9   |
| ロガー測定設定                  | p10～p11 |
| FAQ                      | p12     |

## ユーザー登録

### step 1

<https://www.saveris.net>

にアクセスし、LOG INをクリックして、青帯の「まだ登録はされていませんか?この機会に是非ご登録ください。」をクリックします。



### step 2

国の選択からJapanを選択します。

続いて、言語、メールアドレス、パスワード、パスワードの再入力、を入力します。

「既定の取引条件に同意します」にチェックを入れます。登録をクリックします。

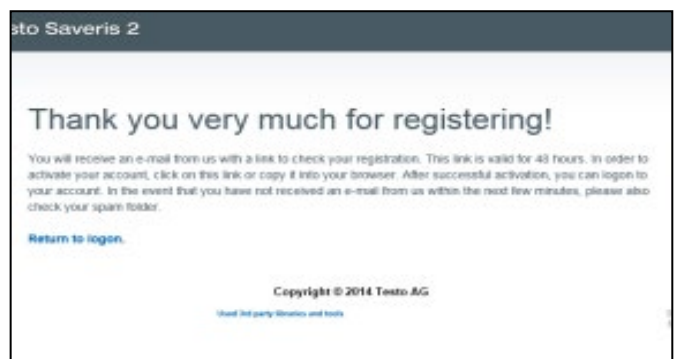


### step 3

登録が完了。登録のメールアドレスに確認のメールが届きます。

### step 4

メールにあるURLをクリックして、登録したメールアドレス、パスワードでログインします。





## ロガーの接続方法① ～ウェブから設定～

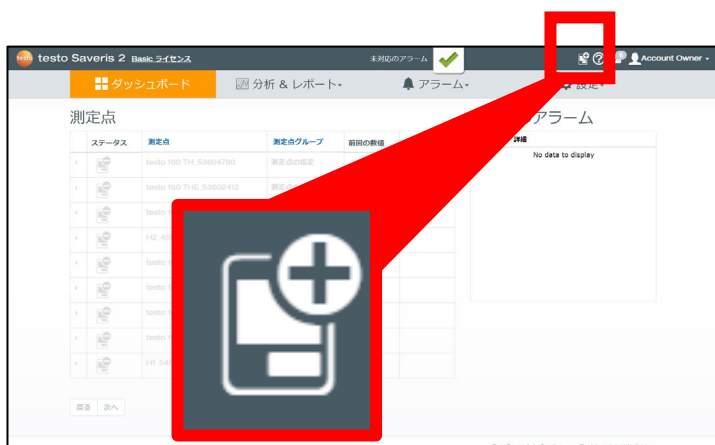
### step 1

登録したメールアドレス、パスワードでログインします。この登録は、ご購入後もご使用いただくものです。再登録はできません。



### step2

画面右上のロガーマークをクリックして、クイックスタートガイドを開きます。



### step3

画面上の指示通りにロガーに電池を入れて、USBケーブルでパソコンに接続します。続行をクリックします。

※ロガーをPCに接続するとリムーバブルディスクとして認識されます。





## step4

無線LANの設定情報を入力します。

SSID: 無線LAN機器の名前  
(英数字、大文字・小文字の区別必要)

Password:  
無線LAN機器のパスワード

(無線LANの情報について不明の場合は、  
担当者に確認してください。)

入力後右下の「設定ファイルの作成」  
をクリックします。



## step5

ファイル名のリンクで右クリックします。そこから、「名前を付けてリンクを保存(Microsoft Edge)/名前を付けてリンク先を保存(Chrome)」を選択します。



## step6

設定データの保存先をSAVERIS  
(またはtesto 160)にして、保存をクリックします。

testo Saveris 2-T2をお使いの場合：

プローブを接続した状態でWi-Fiの設定を行ってください。プローブを接続しないで登録を行うと、“No Probe”と表示され、再度設定が必要となります。

プローブの追加やプローブ種別を変更する場合も、クラウド上で一度”データロガーの削除”を行い、データロガーのリセットを行った後、再度クラウドへ登録する必要があります。



### step7-1 Saveris 2の場合

安全な取り外しを実施後、ロガーの画面に電波マークと雲マークが点滅してから、点灯にかかります。「正常」を選択して完了です。

雲マークが出ない場合は下記の様なエラーコードが出ます。エラーの種類によって再度無線LANの設定やセキュリティ設定変更が必要となる場合があります。

#### よくあるエラー

- E-26: Wi-Fiアクセスポイントとの接続ができない→SSID/passwordの誤りの可能性あり
- E-51: ロガーとクラウドの接続ができない→通信に必要なポートがブロックされている
- E-52: 接続成功していても稀に発生→大抵の場合、再度ボタンを短く押して接続します。



### step7-2 testo 160 の場合

安全な取り外しを実施後、ロガーの左側面のLEDライトが緑色に長く点灯します。

点灯が消え、設定ファイルが正しく読み込まれている場合、USB抜去後LEDが緑色に1回長く点灯します。設定ファイルが正しく無いor電池がない場合はUSB抜去後LEDが赤色に点灯します。

・クラウドとの接続が確立した場合  
→暫くしてから1回短く緑LEDが点灯し、すぐに緑LEDが2回点滅

・クラウドとの接続に失敗した場合  
→約20秒後に赤LEDが2回点滅  
→前述のよくあるエラー欄と同様のエラーが発生している可能性があります。再度ボタンを短く押してもエラーとなる場合は、無線LANの設定をし直して下さい。

※エラーを繰り返す場合は、8ページの「ホットスポットモードで設定」より、エラーログ確認を行ってください。



※詳しくは別途LEDステータス表を参照してください。

## ロガーの接続方法② ～PDFで設定～

### step1

Testoクラウドにログインをして、設定→アカウントIDをクリックします。  
その後、表示されたアカウントIDをコピーします。  
(例: HR-MM-HH-W9-asia)



### step2

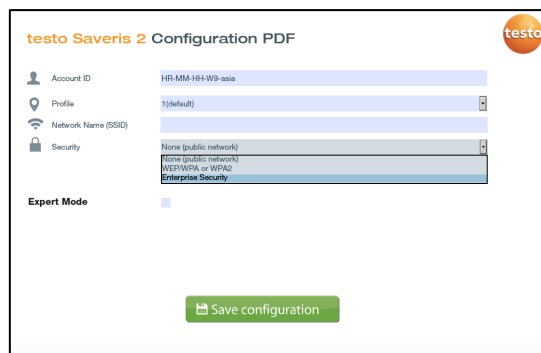
testo Saveris 2 / testo 160 をUSBケーブルでPC(windowsのみ)に接続します。  
接続後、まもなくリムーバブルディスクとして認識されます。  
ストレージ内にあるWiFiConf(.pdf)というファイルをAdobe Readerで開きます。



### step3

PDFを開いたら、下記フィールドに必要な情報を入力/選択していきます。

- Account ID→Step1でコピーしたアカウントID
- Network Name (SSID)  
→接続するアクセスポイントのSSID
- Security  
→None、WEP/WPA or WPA2、Enterprise Securityから選択
- Password→アクセスポイントのパスワード  
※[Expert Mode]にチェックを入れると、固定IPの指定が可能です。





### step4

必要な情報が入力できたら、  
PDF中の緑のボタンの  
[Save configuration]をクリックします。



### step5

ポップアップが出現したら  
ファイル名を変えずに、リムーバブルディスク  
の[SAVERIS]または[testo 160]のストレージ  
内に保存します。その後安全に取り外します。

複数のロガーを同時に設定する場合は、  
保存先をデスクトップ等、ローカルフォルダに一  
度保存し、それぞれのロガーのストレージにコ  
ピー&ペーストを行うと便利です。



### step6

設定ファイルを読み込んだ後の挙動は5ページのStep7を参照ください。





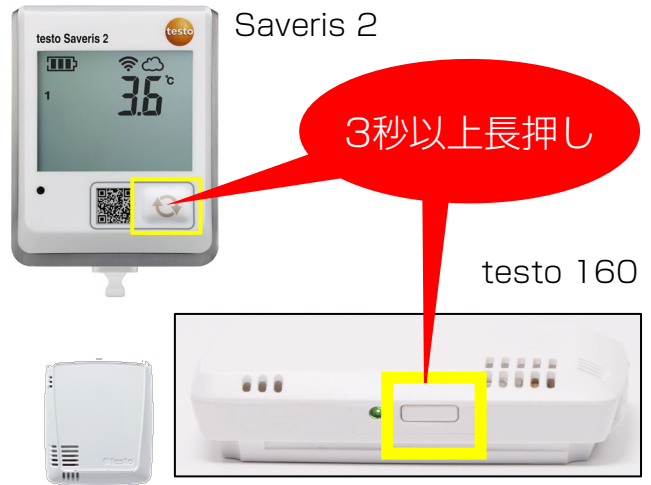
**ロガーの接続方法③**  
～ホットスポットモードで設定～

\*旧Saveris 2 (型番: 0572 200X)は非対応

step 1

写真右のボタンを3～5秒長押しして離すとロガー本体からWi-Fiの電波(2.4GHz)が発せられ、アクセスポイント化します。

※エラーログを確認する場合も使用します。



step 2

ロガーのLEDが緑色に1秒間隔で点滅し始めます。ディスプレイ付きの機種であれば [conf ]という文字が表示されます。

※ホットスポットモードを終了する場合は、3～5秒長押しして離します。短く赤点灯し、通常モードに切り替わります



step 3

モバイル端末等のWi-Fi設定から、[ Saveris 2 (またはtesto 160) SN: xxxxxxxxx ]というSSIDが見つかるので、接続してください。

接続が完了したらモバイル端末画面上に接続完了のマークが出現します。





### step4

接続完了後ブラウザアプリを立ち上げURL欄に [ 192.168.1.1 ] と入力しOKをタップします。

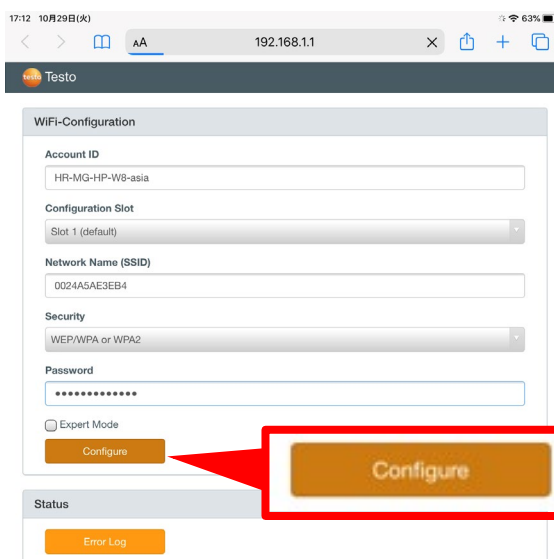
すると、ロガーに直接設定できる画面が現れます。



### step5

設定画面が開いたら下記入力フィールドに必要な情報を入力していきます。

- Account ID  
→6ページのStep1で確認できるアカウントID
- Network Name (SSID)  
→接続するアクセスポイントのSSID
- Security  
→None、WEP/WPA or WPA2、Enterprise Securityから選択
- Password→アクセスポイントのパスワード  
※[Expert Mode]にチェックを入れると、固定IPの指定が可能です。  
最後に[Configure]をタップすると設定情報がロガーに送信されます。

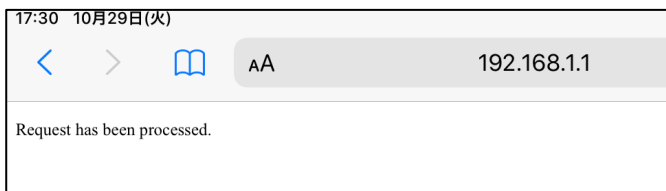


#### Tip

何度も接続に失敗してしまう場合、[Error Log]をクリックすると、これまでのエラー履歴の詳細を確認可能です。

### step6

設定が送信されるとブラウザ上には [Request has been processed] と表示されます。



### step7

設定データを読み込んだ後の挙動は5ページのStep7を参照ください。



## ロガーの測定設定方法

### step1

クラウドとの接続が確立しているロガーがダッシュボードに接続したロガーが表示されます。



### step2

メイン画面のメニューから、「設定」を選択して、「データロガー」をクリックします。設定するロガーから「設定」をクリックします。



### step3

設定したいロガーを選択し「詳細」をクリック

複数のロガーの設定を一度に変更する場合はチェックボックスに✓を入れて「選択されたロガーを編集」をクリックします。測定間隔と通信間隔の変更が可能です。

データロガーの表示

1ページのロガー表示数 [ 15 ] 実行

| データロガー名     | データロガーモデル | 電池 | WiFi | 測定点         | シリアル番号   | ファームウェアバージョン | 測定値                 | 直近の数値:               | <input type="checkbox"/> すべてを選択 |
|-------------|-----------|----|------|-------------|----------|--------------|---------------------|----------------------|---------------------------------|
| T1_45805175 | T1        |    |      | SAデスク後ろ     | 45805175 | v01.78       | 24.7 °C             | 11/06/20<br>20:00:00 | <input type="checkbox"/>        |
| H1_45803002 | H1        |    |      | 出荷グループデスク付近 | 45803002 | v01.78       | 22.7 °C<br>67.9 %rF | 11/06/20<br>17:00:00 | <input type="checkbox"/>        |
| T1_45801262 | T1        |    |      | カタログ置き場     | 45801262 | v01.78       | 23.4 °C             | 11/06/20<br>19:45:00 | <input type="checkbox"/>        |

データロガーの表示

8 of 8

選択されたロガーを編集

1ページのロガー表示数 [ 15 ] 実行

| データロガー名     | データロガーモデル | 電池 | WiFi | 測定点         | シリアル番号   | ファームウェアバージョン | 測定値                 | 直近の数値:               | <input checked="" type="checkbox"/> すべてを選択を解除 |
|-------------|-----------|----|------|-------------|----------|--------------|---------------------|----------------------|---|
| T1_45805175 | T1        |    |      | SAデスク後ろ     | 45805175 | v01.78       | 24.7 °C             | 11/06/20<br>20:00:00 | <input checked="" type="checkbox"/>           |
| H1_45803002 | H1        |    |      | 出荷グループデスク付近 | 45803002 | v01.78       | 22.7 °C<br>67.9 %rF | 11/06/20<br>17:00:00 | <input checked="" type="checkbox"/>           |



### step4

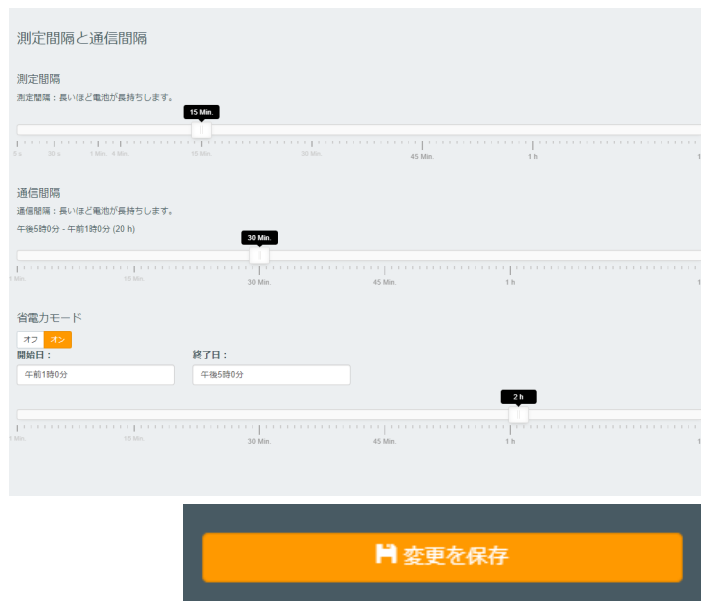
設定画面でロガーの設定を行います。  
測定間隔と通信間隔をそれぞれ設定します。

省電力モードは、夜間など一定期間の通信間隔を任意に設定可能な機能です。

(電池を長く使うため夜間は通常長めに設定します。)

設定後、「設定を保存」をクリックで、変更データが次の通信の時にロガーに転送されます。

無線データロガーが Testo クラウドにデータを再送信するまで、変更は反映されません。

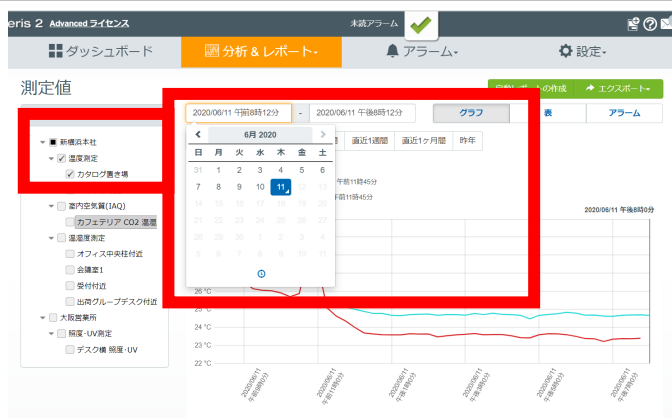


### データの確認方法

データを確認する場合は、メニューから分析&レポートを選択します。

左からロガーを選択して、表示する範囲の日時を設定します。

「グラフ」を選ぶと、グラフが表示されます。



「表」を選択した場合→



## よくあるご質問(FAQ)

### Q. testo クラウドに接続しなくても使用できますか?

A. いいえ、データロガーと testo クラウドは接続させる必要があります。

### Q. 設定後、測定間隔を変更することはできますか?

A. はい、可能です。本初期設定手順の「ロガーの設定方法」の手順で変更が可能です。  
15分よりも短くする場合はアドバンスライセンスへのお申し込みが必要となります。

### Q. 何台までのロガーを接続できますか?

A. 1つの testo クラウドアカウントに対するロガーの接続制限はありません。

### Q. データロガーにE-00が表示されます。

A. 当社 Web サイト上のFAQページよりエラーコード表をご確認ください。

### Q. データロガーに"no probe" と表示される (Saveris 2 T2 を使用)

A. Saveris 2 T2 はプローブをデータロガーに差し込んだ状態で設定する必要があります。  
再度、プローブを差し込んだ状態で設定を試みてください。

## FAQ (テストーWebサイト)

URL: <https://www.testo.com/ja-JP/products/saveris-2-faq>

## QRコード



## ●FAQサイトで確認できること

- 上記以外のよくあるご質問
- WPA2エンタープライズ設定方法
- ライセンスアップグレード方法
- システム・ネットワーク要件
- 表示メッセージ・エラーコード表
- LEDステータス表

\*本カタログの内容は、予告なく変更される場合があります。